

第1回 福井警察署協議会

開催日時	令和7年5月20日（火）午後1時30分から
開催場所	福井警察署 講堂
出席者	福井警察署協議会委員 10名 福井警察署員署長以下 8名
協議会の概要	
1 委嘱状交付 2 福井警察署長挨拶 3 会長・副会長選任 4 福井警察署協議会会長挨拶 5 自己紹介 6 事務概況報告 (1) 令和7年度の体制 (2) 令和6年度の提言に対する取組結果 (3) 各課の重点業務 (4) 最近の主な事件・事故 (5) 駐車監視員活動ガイドライン 7 質疑応答 ○ 委員： 最近はスマホで簡単に人と知り合い、殺される事件が毎日のように起きています。また、億というお金がだましとられる等、どうなっているのと言いたい世の中です。 ● 警察： 警察では、犯罪発生時の迅速な検挙対策のみならず、インターネット空間をサイバーパトロールし、犯罪の実行者募集情報や特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺に触れる情報等があれば、違法情報、有害情報として事業者に削除依頼を行っておりますし、各学校においてSNSの危険性を訴える等の防犯教室を開催し、被害発生を防止する取組を行っております。また、各種防犯団体と連携し、防犯カメラの存在を殊更に知らしめることを目的としたフロアシートを導入し、万引き、自転車盗被害の防止対策を講じるなど、安全安心な福井の実現に向けて署員一同取り組んでいるところです。 ○ 委員： 小学1年生は登下校に慣れておらず、とび出し、信号の見方、危険な人にはついていけないなど身に付いていない様です。また、高齢者の万引きも心配です。 ● 警察： 当署では、例年、春から管内の各小学校を回り、交通安全教室を実施しており、小学生1人1人に対して交通事故に遭わないように安全な道路の渡り方や、自転車を利用する場合にはヘルメットを着用するように指導しております。また、下校時間帯付近における小学校付近での制服警察官による見守り警戒を強化しているところです。	

- 警察： 高齢化による人口増加、核家族化等による孤独感の増加、経済的な困窮等を背景とする高齢者の万引き増加、再犯率の増加は社会全体で対策すべき課題となっております。

再犯防止対策として、就労・住居の確保、福祉サービス・保険医療の利用の促進、学校等と連携した修学支援の実施などを基本方針とする福井県再犯防止推進計画が示されております。

県警察においても、県、市町、関係団体と連携した再犯防止推進活動を実施しているところです。

- 委員： 「県道１１１号線 高柳北交差点」において、土・日・祝日に、右折専用レーンでの右折待ち車両が多く後続が渋滞となり、左車線を通行する車にも影響があるため、右折矢印信号機が設置できないか。

- 警察： 同交差点については、これまでも渋滞緩和に向けた対策として、交通管制センターと連携を取りながら、休日の交通量についての実態調査を実施し、調査の結果を踏まえて信号サイクルの見直しを行っており、見直し前後の検証結果からも渋滞の緩和効果が現れているところではありますが、今後、新幹線道路の延伸による交通量増加も見込まれますので、右折矢印信号については、周辺の道路状況の変化等を見ながら設置の必要性について検討してまいりたいと考えております。

- 委員： 迷惑メールや迷惑電話が大変多いことが気になります。

- 警察： 迷惑メールについては、携帯電話等事業者が講じている迷惑メール対策の設定が有効です。

迷惑電話の中には、特殊詐欺や悪質商法等を目的したものも見られます。固定電話であれば、通話内容を録音する旨を警告する自動音声機能が付属した電話機の導入や最近では国際電話を使って特殊詐欺の電話をかけてくることが多いため、国際電話を繋がらなくする不通対策が有効です。

また、不審な電話があれば、いったん電話を切ることが非常に有効です。電話を切った後に、相談電話ダイヤル「＃９１１０」や最寄りの警察署に相談してください。

8 福井県公安委員会講評

